

中小企業あきた

- 1 「**団結は力 見せよう組合の底力!**」…………… 1
～第69回中小企業団体全国大会～
- 2 【特集】県内の『**元気で頑張っている商店街**』をご紹介します! …… 2
- 3 **全国まるごとうどんEXPOを**
4県の協同組合が連携して盛り上げる! …… 4

11
NOVEMBER.2017

- 組合・企業探訪…………… 5
- 景況レポート 9 月分 …… 6
- 話題の広場
- 中央会事業より…………… 8
- アラカルト…………… 9
- 支援団体活動レポート…………… 9
- インフォメーション…………… 10
- 中央会職員コラム…………… 10



TOPICS 1

「**団結は力 見せよう組合の底力!**」

～第69回中小企業団体全国大会～



[第69回中小企業団体全国大会 開会宣言の様子]

10月26日(木)、長野県松本市「キッセイ文化ホール」において、第69回中小企業団体全国大会(主催：全国中小企業団体中央会・長野県中小企業団体中央会)が盛大に開催されました。

本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、全国約2万7千組合等の意見を総意として取りまとめ内外に広く表明するとともに、国等に対し中小企業の振興施策の強化を訴え、安定した中小企業の成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的に、毎年開催しているものです。

第69回目となる今大会は、『**団結は力 見せよう組合の底力!**』をテーマに、政府をはじめ中央関係機関や各政党代表などの来賓や本県

から参加した38名を含む、全国より約2,500名が参加しました。

大会では、「実感ある景気回復と中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化」、「地域活性化を担う中小企業・小規模事業者に対する支援の拡充」等、全16項目が決議された後、表彰式では、優良組合として協同組合秋田木材コンビナート(大坂真一理事長)ならびに組合功労者として小玉真一郎氏(秋田県酒造協同組合理事長・本会副会長)がそれぞれ全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。

なお、来年の第70回中小企業団体全国大会は、平成30年9月12日(水)に京都府京都市において開催される予定となっています。

第69回中小企業団体全国大会 受賞おめでとうございます

【優良組合】



協同組合秋田木材コンビナート
(理事長 大坂 真一 氏)

【組合功労者】



小玉 真一郎 氏
(秋田県酒造協同組合 理事長)

【中央会優秀専従者】



加藤 謙太
(事業振興部副部長(兼)
工業振興課長)



[本県から参加された皆さん]

TOPICS 2 【特集】県内の『元気で頑張っている商店街』をご紹介します！

地域コミュニティの担い手である商店街は、地域の魅力を発信し、地域の活力を向上させる役割を果たしています。本号では、地域のにぎわいを創出するために励んでいる商店街を取り上げましたのでご覧ください。

横手駅前商店街振興組合(齋藤善一理事長) ～駅前再開発を契機に商店街が活性化～

当組合の所在する横手駅前地区は、かつては横手市で最も活気のある商業エリアでしたが、郊外型の大型店や専門店などの進出により、次第に勢いが衰え、集客の核だった大型店の撤退や総合病院の移転により、通行量の減少と店舗の廃業が進んでいました。

このような状況のなか、組合では、6年前の横手駅改装に伴う横手駅東口の再開発で誕生した複合施設「よこてイースト」との連携に活路を見出し、地域の伝統行事とタイアップしたイベント等を次々に開催することで、商店街の再生を図ろうと取り組んでいます。



[納涼ビアガーデンの様子]

よこてイーストのにぎわい広場を利用した「納涼ビアガーデン」では、商品PRを兼ねた組合員の屋台が軒を連ね、商店街の各所で演奏される「YOKOTE音FESTIVAL」では、ロックやジャズなど、ジャンルを超えた音楽が繰り広げられます。

また、秋冬には地域製品の販売や親子参加型のイベントを楽しむ「よこてイーストまつり」や、雪のスベリ台や雪像制作、イルミネーション装飾をあしらった「光と雪の芸術まつり」が開催されています。

現在、組合では『横手駅前にかつてのにぎわいを取り戻そう』を合い言葉に、若手や女性を中心となって発足したプロジェクトチームを軸に企画・運営が行われています。

横手駅前に集まるファンが増えていることを実感していると話す高橋事務局長は、「にぎわいを実感できる空間づくりと幅広い年齢層が楽しめる市民参加型のイベントを継続しながら、組合一丸となって横手駅前を盛り上げていきたい。」と抱負を語っています。

大館市大町商店街振興組合(山城久和理事長) ～周辺の商店街と連携した取組を実施～

当組合は、大館市の中心部に位置しており、大館アメッコ市や大館神明社祭典などのイベントではメイン会場として利用されるなど、地域住民とともに密に繋がっている歴史ある商店街です。

しかし、近年は郊外への大型商業施設の進出などにより客足が減り、特にここ数年間は老舗店舗の閉店が相次ぐなど、組合単独での大規模イベントの実施が難しくなっていました。

そこで当組合では、周辺の商店街と連携することで様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んでいます。

大館市御成町二丁目商店街振興組合など市内の商店街との連携により約30店舗の店主等が講師となり、商品やサービスに関する講座を開く『大館まちなかゼミナール(通称「大館まちゼミ」)』や、商店が自ら積極的に客を獲得するため、昼休み時間帯に大館市役所(本庁舎、比内庁舎及び田代庁舎)で出張販売を行う『おでかけ商店街』等を展開することで、客待ちの

姿勢を見直し、個店の魅力を高めることで、来街者数の増加や売上アップを目指しています。



[おでかけ商店街の様子]

当組合の山城理事長は、「個店においては顧客をしっかりと確保してもらいたい。組合では、その個店の努力に対して、上記の取組を通じて誘客のお手伝いをしていく。また、買い物だけではなく、商店街が本来持っている地域住民の交流の場としての機能を充実させていきたい。」と話しています。

秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長) ～商店街をもっと身近に～

佐竹藩の町割り(町づくり)により発展した秋田市通町は、高級商人の町として商業が栄え、約600メートルの街区には江戸時代からの老舗商店が多く残ります。平成5年には、建物のデザインの統一、色づかいを調和させた町並み、お年寄りや障害を持つ人にも配慮された歩道などのハード面が整備され、「通の街」としてリニューアルしました。

その後、青年部が中心となり、1年を通じて様々なイベントが行われる賑やかな街づくりを目指して、あきた舞妓を招いた打ち水イベントや、サイコロの目に従い各店舗を巡る商店街スゴロク、顔にキツネ風メイクをした商店街関係者や来街者が、地域住民の「福」を祈念しながら商店街周囲を練り歩く「招福 狐(きつね)の行列」など、バラエティーに富んだイベントが次々と開催されるようになりました。



[あきた舞妓とのイベントの様子]

当組合の青井専務理事は、「イベントを通じて、来街者に商店街を身近に感じてもらい、商店との距離感をもっと近づけたい。敷居を下げることで、気軽に入店いただけるようになれば、各店舗の売上アップに繋がってくる。商店街の店々を巡っていただけるような工夫をこれからも施していきたい。そして、人と人を温かく繋ぐ『ハブ』の役割となる商店街になることを目指します。」と話しています。

当組合では、イベント実施後に各店舗の売上や来街者数の増減を検証する機会を設けることで、次回の企画に反映させながら、常にバージョンアップをしています。

秋田県商店街振興組合連合会の平澤理事長は「地方の商店街は、来街者を増やそうと知恵を出し合い、各々が必死に頑張っています。近隣の商店街に足を運んでいただき、街並みを眺めながら買い物を楽しむことを是非体験していただきたい。」と話しています。

にぎわいを創出するための商店街の取組は、地域コミュニティ活性化の鍵となります。それぞれの使命感をもって地域を盛り上げようと、元気で頑張っている商店街の取組に今後とも注目ください。

全国まるごとうどんEXPOを 4県の協同組合が連携して盛り上げる!

9月30日(土)～10月1日(日)の2日間、湯沢市の市役所駐車場をメイン会場に、全国まるごとうどんEXPOが開催されました。今年で7回目の開催となる当イベントには、稲庭うどんをはじめ、全国から全19種類のご当地うどんが集結したことで、総勢8万人が会場を訪れました。



[会場の様子]

当イベントには、秋田県稲庭うどん協同組合(佐藤正明理事長)のほか、本場さぬきうどん協同組合(大峯茂樹理事長)、五島手延うどん協同組合(舩田安男理事長)、三重県製麺協同組合(堀哲次理事長)等の事業協同組合が主体となって参加しました。

全国まるごとうどんEXPO実行委員長を務める秋田県稲庭うどん協同組合の佐藤正明理事長によると、出展する団体の『質』や『サービス』は、お客様ニーズの追求により年々レベルアップが顕著とのこと。

大盛況となった今回のイベントに関して、各組合は次のようにコメントしています。

本場さぬきうどん協同組合(香川県)

「秋田県稲庭うどん協同組合とは以前から交流があった。うどん県と銘打つ香川県の『本場さぬきうどん』を多くの来場者に堪能していただくことで、うどん食のPRや消費拡大に繋げたい。組合を通じた販路拡大や認知度向上の取組に手応えを感じており、うどんEXPOには第1回から組合で参加している。今後も、香川県が主催する『全国年明けうどん大会』や県外のイベントに積極的に参加することで、本場さぬきうどんを一層広めていきたい。」



[本場さぬきうどん(協)のブース]

五島手延うどん協同組合(長崎県)

「販路拡大と組合員企業の活性化、そして後継者育成を目的に第1回から参加している。EXPOの2日間では、約3,000杯を来場者に振る舞うことができた。『五島うどん』は、300余年の伝統があり、手作業で行われる手延べの製法を親から子へ伝承しながら、今日まで受け継がれてきた。今後も組合が先頭となることで、EXPOを始め、関西外食ビジネスウィーク等の出展会に参加しながら、販路切り開いていきたい。」



[五島手延うどん(協)のブース]

秋田県稲庭うどん協同組合(佐藤正明理事長)

「来場者数も回を重ねるごとに増加しており、イベントとして定着してきていることを実感している。秋田県を代表するイベントに成長できるよう研鑽を重ねながら、『うどん』という食文化を通じて、子どもから大人までが笑顔になれるように、おもてなしの精神を忘れずに開催を続けていきたい。また、ご当地うどんの協同組合が全国から湯沢市に集まって交流し、イベント全体を盛り上げる役割を担っていることは大変嬉しく、心強い。」



[秋田県稲庭うどん(協)のブース]

本号では、秋田県で開催された全国規模のイベントに、他県から協同組合が集結した事例をご紹介します。組合事業である共同宣伝事業の実施により、組合員企業や業界全体の発展に取り組んでいる組合は他にも多くあります。

今回のイベントに限らず、業界をPRするために組合を上手に活用してみたいと思います。

フィリピンにトレーニングセンターを開設

～アジア・アパレル協同組合～

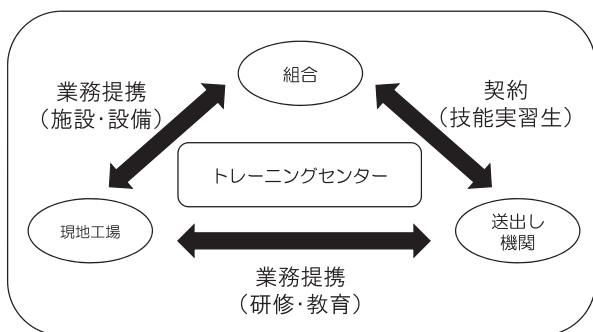
東北地方は縫製業における国内最大の産地であり、なかでも秋田県は事業所数、従業員数ともにトップクラスの規模を誇り、外国人技能実習制度を活用して海外から多くの技能実習生を受け入れています。

外国人技能実習制度では、実習生として来日前の6か月間で160時間以上の日本語研修が義務付けられていますが、多くの送出し国においては講習を受けながら仕事に就くことは困難であり、来日までの間、経済的に苦しい生活を余儀なくされています。

アジア・アパレル協同組合(岩井川功理事長)は、数年前よりフィリピンから技能実習生を受け入れています。こうした実情を踏まえ、日本語研修と仕事が両立できるスキームの構築に着手しました。

具体的には、日本製の生地を取り扱う現地の縫製工場と提携し、工場の一部を改築して居住と研修ができるスペースを確保しました。さらに実技研修に必要な設備を組合員が全て取り揃え、昨年8月に念願の組合専用のトレーニングセンターを開設しました。

また、現地工場と送出し機関が業務提携を行い、全ての研修を施設内で行えるよう調整し、研修が行われない時間は現地工場働くことで賃金が支払われるなど、来日を目指す生徒達が安心して研修に打ち込める環境を3年掛かりで整備しました。



[スキーム図]

外国人技能実習制度は、日本で3年間の研修を終えたあと母国へ戻ることとなりますが、提携する現地工場が帰国する実習生の就労の受け皿となります。

日本で学んだ技術が生産現場で活かされることで、技術力と生産性が高まるほか、将来、日本での実習を目指す生徒の指導者として活躍してもらうことで、研修環境は一層良化することが期待されます。来日する実習生の

技術力・語学力の向上は、組合にとって品質向上等に繋がり、双方にとって大きな利益をもたらします。

この取組について、岩井川理事長は「将来日本で技術を学びたい生徒達の不安を解消する方策はないかと考えてきたが、ようやく形にすることができた。我々の業界にとって技能実習生は、生産現場を支える大きな原動力であり、組合員工場に来てくれる生徒達を心から歓迎したい。」と話しており、今年4月からはトレーニングセンターでの研修を終えた実習生15名が組合員企業で働きながら、日本の縫製技術を学んでいます。



[トレーニングセンターでの研修の様子]

11月1日からは、外国人技能実習制度が改正され、外国人技能実習機構による管理へと移行します。受入組合に対しては厳格な管理が求められる一方、優良組合・企業においては、帰国後に一定の要件を満たすことで、更に2年間の実習が認められるなど、制度の見直しが行われます。

現地との繋がりを強化することで、優秀な技能実習生を確保し、国際貢献に取り組んでいる当組合の活動に、今後も大きな期待が集まります。



[実習生と組合員の皆さん]

【アジア・アパレル協同組合】

- 代表者名 岩井川 功
- 所在地 能代市二ツ井町切石字山根73番1
- 設立 平成26年7月
- 会員数 7名(平成29年10月現在)

景況レポート

(9月分・情報連絡員80名)

非製造業は再び景況感が後退

【概況(全体)】

9月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが8.8%(前回調査8.8%)、「悪化」が31.3%(同28.8%)で、業界全体のDI値は-22.5となり、前月調査と比較し2.5ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、非製造業では0.9ポイント東北・北海道ブロックを上回ったものの、全体及び製造業のDI値は全国及び東北・北海道ブロックを下回り、低調に推移した。

【業界別の状況】

業界別では、鉄鋼・金属及び一部の卸売業、建設業で業況の好転割合を維持しているものの、小売業での悪化割合が増加したことで景況感が後退した。

なお、全体の景況感は売上高で改善が見られるものの販売価格の上昇、在庫数量を始めとした各調査項目で低調に推移し、天候不順による需給不調、需要の減退や個人消費の低迷等により景況回復を感じられない状況が続いている。また、物価上昇や地政学リスクに起因する原油高に加えて、さらなる人件費アップや送料の値上げ動向等も出ており、全般的な経営コストの負担増が一層顕在化している。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-22.5	-17.0	-22.2
製造業	-21.8	-15.3	-19.5
非製造業	-22.9	-18.4	-23.8

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

【凡例】



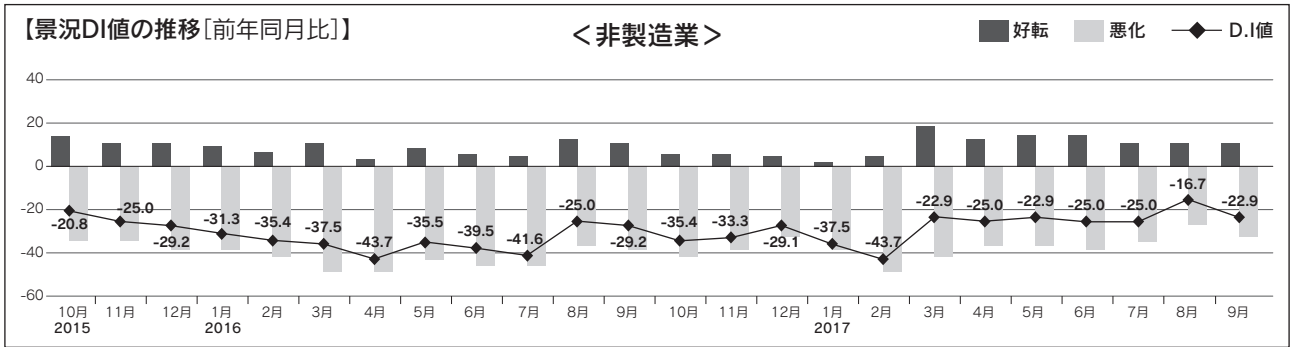
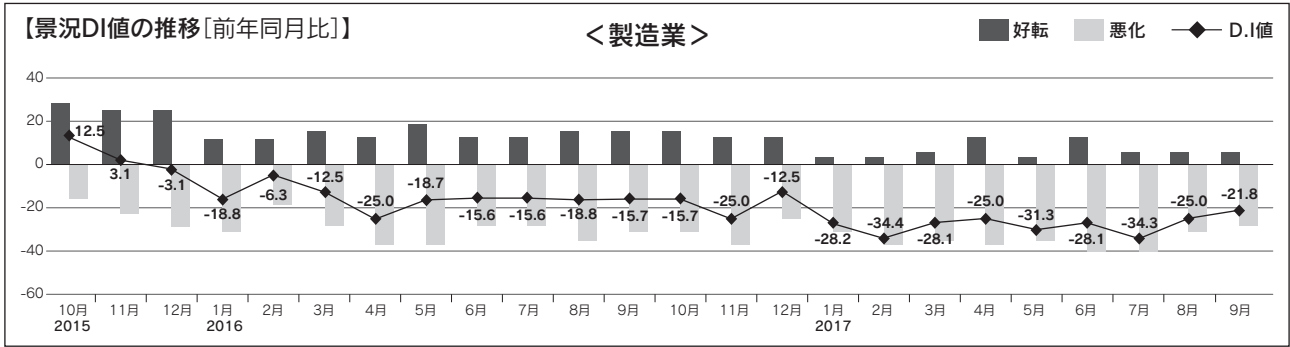
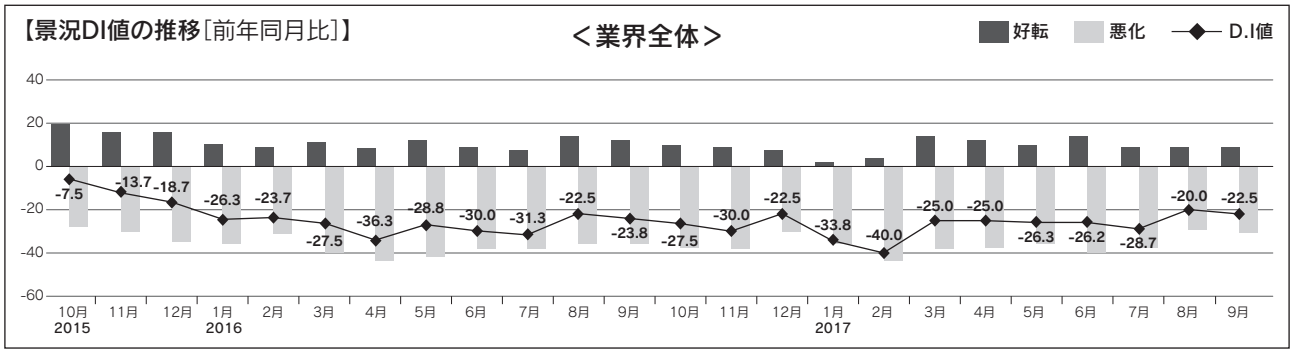
【天気図の見方】
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ~製造業~

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (豆腐)	季節の変わり目で動きが鈍く、売上は低迷した。県外大手の進出で県外業者同士が競争し、県内の業者ははじき飛ばされている。
食料品 (菓子)	「ねんりんピック」で一時的に忙しかった業者もいる。観光地の人出は多かったが、直接の売上には結びついていなかった。
食料品 (精穀・製粉)	イベント等により一時的に受注が伸びる時期はあったが、限定的で全体を押し上げるまでには至らなかった。
繊維工業 (ニット)	今年は秋冬物の発注が少ない。8月の天候不順の為、店頭でのセールが不調、秋物の動きがまだ無いため、アパレル各社が在庫調整に入ったと思われる。
繊維工業 (繊維)	小売状況が低調で、受注量への影響が気になる。確かなことは1品番当たりのロット数が少なくなりつつあり、生産性の低下が懸念される。
木材・木製品 (一般製材)	4月から9月までの製品販売量は、九州地区の品薄感の影響もあり、前年比増加(106%)している。製品価格は、価格改定で角柱・羽柄材が500円~1,000円/m ² 値上げとなった。一方、原木価格は、出材量の不足感から500円/m ² 値上げの価格改定となり、製材工場の収益面は、依然、厳しい環境となっている。
木材・木製品 (素材生産)	合板生産量は、国産針葉樹合板の引き合いが好調なことから各合板工場はフル稼働となっている。合板原木の消費については、フロア材合板の生産を優先していることで、トドマツ等県外産の原木の消費は増加しているが、秋田スギ原木の消費は横ばいで推移している。
窯業・土石製品 (生コンクリート)	9月の出荷数量は、前年比93.0%、4月~9月累計で96.0%となった。昨年、過去最低の出荷量となったが、今年度はさらに下回ると思われる。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	各社とも年末までの物件を確保しており、100%以上の稼働で推移している。来月以降の受注物件も見込まれている。
一般機器 (金属加工)	受注面は引き続き好調に推移、県外からの受注打診も依然に比べ多い。材料の鋼材が値上がり傾向にあるが、売価への転嫁が出来ておらず、利益面は従前同様、厳しい状況にある。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (古紙) 価格が昨年同期よりは高いものの新聞、雑誌は前月より2～3円下がっている。台風や雨の影響もあり、回収量は昨年比7.4%の減少となった。

小売業 (ポイントカード) 上期6ヶ月間で一度も昨年同月比プラス月が無かった。9月にあつては10.5%減となり、今年度で一番悪い状態にある。

小売業 (石油) ガソリンの小売価格は、1ℓあたり130円10銭で前月比1.3円の値上がり、軽油は1ℓあたり111円80銭で前月比1.2円の値上がりとなった。原油価格が値上がりし、為替レートが円安に振れたことによるものである。

商店街 前月比ほとんど変わらず低迷の一途である。前年同月比でも不変としているものの内容的には悪化の状態である。(秋田市)

天候不順が商売に影響を与えている。食品、衣料、飲料において売上が伸び悩んだ。(鹿角市)

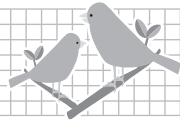
サービス業 (自動車整備) 9月の自動車検査台数実績では登録車が6.5%の減少、軽自動車は5.2%の減少となり全体では前年同月比で5.9%減少した。ただ、上半期の累計台数は前年同期比2.8%の増加となっている。

サービス業 (旅行) 国内83.1%、海外101.9%と先月の低調からは脱出した感がある。ただ、10月は選挙が行われることから、実施予定の法人団体ツアーの延期が数件発生しており、取り扱い減を危惧している。

建設業 (一般建築) 公共工事、民間工事ともに多忙となっている。公共工事では監督員不足、民間工事では職人不足が出てきている。(中央地区)

建設業 (電気工事) 一般住宅の受注件数は伸び悩んでいる。ハウスメーカーの住宅件数が伸びているようだが、一般工務店の受注件数減少の影響で電気工事店の経営状況は苦しいようである。(県南地区)

運輸業 (トラック) 貨物もようやく米の輸送が始まり、動き出した感じがする。(中央地区)



中央会事業より

県産生鮮食材のPRと市場内の活性化策について ～組合活力向上事業(協同組合秋田市卸売市場協会)～

10月3日(火)、秋田市の秋田市公設地方卸売市場において、協同組合秋田市卸売市場協会(鈴木信夫理事長)を対象とした組合活力向上事業を開催し、組合員等47名が参加しました。

組合では、市場内の活性化と県産食材のPRや食育推進のため、組合が所有する多目的室の有効活用と利用率の向上が課題となっていました。

そこで、神戸市中央卸売市場内で食材の情報発信や料理教室等を運営しているマーケットピア神戸株式会社の石原マネージャーを講師に迎え、秋田の食材を広く消費者にアピールする方法やイベント・料理教室等の事業展開・運営手法について学びました。



[講師：石原氏]



[研修会の様子]

マーケットピア神戸(株)が開催する料理教室のポイントは次のとおりです。

- (1) 講師は、本物の味を知ってもらうため、各食材のスペシャリストを迎えている。
- (2) 受講料は3,000円から6,000円程度と比較的高めの料金設定だが、使用する食材にこだわり、料理は全て持ち帰りができる。
- (3) 募集方法は、神戸市の広報誌やチラシ、ホームページ、ファンクラブ登録者へのメールマガジンで配信している。

講師の石原マネージャーからは、「料理教室のテーマを決めるときには、タイトルだけで内容が的確に伝わるように工夫している。実際に参加したら『想像と違った』と言われたいようするため、HPでは、料理教室の詳細な内容も伝えるようにしている。」「お客様からの信頼に繋がるため、食材の質を落とすようなことは絶対にしない。」等の話があり、参加者にとっては多くのヒントを得た研修会となりました。

組合では、施設の有効活用と県産生鮮食料品をPRするため、料理教室の開催回数を増やしていきたいと考えています。本研修会で学んだことを施設運営に反映させることで、市場内の活性化に繋がることが期待されます。

設備保全の重要性を学ぶ

～組合活力向上事業(秋田スギ製材協同組合)～

10月16日(月)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田スギ製材協同組合(大坂真一理事長)を対象とした組合活力向上事業を開催し、組合員等24名が参加しました。

組合員の製材工場における製品生産力は、機械の稼働時間に大きく比例し、機械の故障を未然に防ぐことは生産性を最大限維持することに繋がります。

そこで組合では、本会事業を活用し、千葉県にある高度ポリテクセンターの竹野教授を講師に迎え、設備の自主保全の必要性とその効果について学びました。

講師の竹野教授からは、「機械(設備)保全活動は、機械が故障しないようにするための取組であるが、埃の除去、オイル交換等、単純なメンテナンス作業だけではない。機械の異音や摩耗粉、廃油に異質物の有無等を確認し、

その混入原因を調査し、故障原因を除去することが重要である。」等の話があったほか、具体的な設備保全に関する指導が行われました。参加者からは「故障してから対応するのではなく、故障する前から不具合となる原因を追及することの大切さを知ることができた。」等の感想が聞かれるなど、設備保全に対する重要性の認識が高まった様子が伺えました。

組合では引き続き、設備機械の自主保全に必要な点検項目リストの制作と運用について研究を重ねていく予定です。



[研修会の様子]

■秋田県と経済団体による「イクボス」共同宣言

10月5日(木)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて、職場の仕事と生活との両立を応援しながら、自らも仕事と生活の充実に取り組む上司「イクボス」を目指した共同宣言が行われました。

本会からは伊藤専務理事が出席し、佐竹敬久知事をはじめ、県内の経済団体等9名が宣言書に署名し、働きやすい環境の実現に向けて全力で取り組むことを誓いました。

また、宣言に先立って開催された講演では、内閣府地域働き方改革支援チームの渥美由喜委員より「『ワーク』と『ライフ』は横並びではない。生活という基盤がしっかりしたうえで仕事が行われることで、企業の生産性は向上

する。」といった話のほか、県内のワーク・ライフ・バランスに取り組む企業が紹介されるなど、管理職が率先して部下が働きやすい環境づくりの推進を呼びかけました。



[イクボス共同宣言の様子]
(※左から2人目が伊藤専務理事)

■節目の年を盛大に祝う ～協業組合湯沢車検センターが創立30周年式典を開催～

10月13日(金)、湯沢市の湯沢ロイヤルホテルにおいて、協業組合湯沢車検センター(石川力理事長)の創立30周年記念式典・祝賀会が開催されました。

石川理事長は、これまで組合の歩んできた歴史を振り返りながら、「自動車整備業界は、組合設立以降、規制緩和や少子高齢化に伴う所有台数の減少等の影響を受け、昭和62年に10社で設立したメンバーのうち4社が入れ替わった。こうした状況のなか、創立30周年を迎えることができたのは、ひとえに組合員の団結力によるものである。この30周年を新たなスタートとし、

更に組合員が一丸となって組合運営を進めていきたい。」と挨拶を述べました。

その後の表彰式では、多年にわたり組合の発展に尽力した組合功労者及び優秀専従職員に対して秋田県中小企業団体中央会会長表彰が行われ、記念祝賀会では、総勢114名が参加し、節目の年を盛大に祝いました。



[石川理事長]

支援団体活動レポート

組合士の抱える課題と飛躍のための方策を考える

～東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会～

10月6日(金)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、第34回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会の研修交流会が開催され、来賓や東北・北海道ブロックの組合士72名が参加しました。

開会式では、東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会の鈴木英弘会長より主催者挨拶の後、秋田県中小企業組合士会の堀川深雪会長が開催県として謝辞を述べ、来賓を代表して秋田県産業労働部の石川聡次長と全国中小企業組合士協会連合会の黒川政春会長より祝辞が述べられました。



[開会式の様子]

研修交流会では、「中小企業組合士の抱える課題と更なる飛躍のための方策」をテーマにパネルディスカッションが行われ、各道県の組合士による意見交換が壇上で繰り広げられました。

■組合士制度を普及させるために

必要なアクションとは何か

- 業界のブロック交流会などで組合士制度を紹介する。交流の場を通じて、普及のために組合士自らが一步を踏み出すこと。
(北海道医師(協))
- 他県の事務局職員が組合士を取得したことを知って刺激を受けた。他県の組合に対して組合士制度を紹介することは有効。
(宮城県電機(商))

■組合士を取得したきっかけと

組合役員からの理解度について

- 先輩女性職員に憧れ、自分も組合士に挑戦しようと決意した。支部を含めて現在10名が組合士の資格を保有しており、組合役員からも認知されている。組合士の研修交流会に参加する際の会費は組合が負担し、資格取得の際には昇給制も設けられるなど理解は深い。
(秋田県電気工事(工))

■組合士を増やすために期待すること

- 組合士でなくてはできない仕事がないということが悩ましい。総会資料には組合士の署

名捺印が求められるなど、1つでも組合士が組合運営上必要となるケースが欲しい。

((協)サンロード青森)

- 中小企業組合士は『あなたのための資格』ではなく、『周りから必要とされる資格』でなくてはならない。(郡山トラックセンター(協))
このほか、コーディネーターを務めた堀川会長のもとで、組合士が抱える葛藤など、赤裸々な話を交えながら、パネルディスカッションは盛況のうちに終了しました。



[パネルディスカッションの様子]

引き続き開催された講演会では、秋田醸造株式会社の小林忠彦社長より、「秋田県の酒造業とNEXT5の活動」をテーマに、縮小する市場環境のなか、売れる日本酒づくりのための酒蔵元5社による取組が発表され、講演会終了後に開催された交流懇親会では、各道県から集結した中小企業組合士らによる活発な交流が行われました。

インフォメーション

国税庁では、租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めて頂くため、年間を通じて税に関する啓発活動を行っていますが、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的に広報広聴施策を実施しています。

今年度は、「くらしを支える税」をテーマとし、税の役割や適正・公平な課税と徴収の実現に向けた取組のほか、社会保障・税番号(マイナンバー)制度に関する情報や国税電子申告・納税システム(e-Tax)の更なる利便性の向上に向けた情報等を国税庁のホームページで紹介していますので、是非ご覧下さい。

[国税庁ホームページ] <http://www.nta.go.jp/>



中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

商業振興課の深沢です。一昨年までは横手支所に勤務しておりました、昨年の9月から本部の総務企画課へ、今年4月からは商業振興課に異動となりました。分からないことばかりの毎日ですが、会員組合や組合員企業の皆様の少しでもお役に立てるように、日々頑張っています。

自宅が横手市にありますので、毎日電車に乗って通勤しています。最初は慣れなかった電車も今では電車の心地よい揺れに、座ればすぐに夢の中へ…。そして自宅に帰れば、6歳と1歳半の息子達が待っており、抱きつき攻撃に癒やされている毎日です。やんちゃな男の子2人にお手上げ状態の日もありますが、私の強みでもあるポジティブ精神でいつも「なんとかなる!」と前向きな姿勢で子育てを楽しんでいます。

私の子育てのモットーは「豊かな自然と親の愛情、適度な貧乏」であります。机の上での勉強だけでは学べないことはたくさんあり、自然と触れあ

う時間を大切にしたい。物を与えすぎないことで、無いなら無いなりに違う視点から物事を考えられるように成長してもらいたい。そして何より親の愛情が子どもの成長には一番大切だと思っています。

子どもにはこうであってほしいと望むことはたくさんありますが、子どもと同じ目線で物事を考えること、子どもが幸せになるために何をしてあげられるかを考えながら常に接するように心掛けています。子ども達の笑顔を見られることは、私にとって何よりも幸せです。

そんな私の元気の源である子ども達と毎日笑顔で過ごせるように、仕事も子育ても一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



[記 商業振興課 主事 深沢さやか]

官公需適格組合
『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 本多 秀文
副理事長 松木 文雄
" 太田 博之

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

損害保険・生命保険



保険と暮らしの相談センター
株式会社 **アキタ保険**



本社
〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目5-9
TEL 018-864-6921 FAX 018-864-6922
URL <http://www.akitahoken.co.jp>

フレスポ本荘店
〒015-0011 秋田県由利本荘市石脇字田頭141-1
TEL 0184-24-5511 FAX 0184-24-5512

原点復帰、基本に戻って

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)
建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666
URL : <http://www.k-chiyoda.jp>

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 **秋田クボタ**

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel : 018-845-2121 Fax : 018-845-6600

保険とリース、相続・事業承継のご相談はお気軽にどうぞ!!



株式会社
保険&
リース **北日本ベストサポート**

URL <http://www.knbs.jp>

本社 〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

県南営業部 TEL.0187-66-3622 能代東支店 TEL.0185-58-2116
酒田支店 TEL.0234-75-3370

三井生命保険株式会社 生命保険団体扱オーナーズプランのご案内



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's Plan

秋田県中小企業団体中央会の会員組合の組合員
がご契約者の場合、団体扱*となり、一般扱(口座
振替扱月払等)よりも **割安な保険料**で
ご契約いただけます。

* 団体扱とは、秋田県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とされない商品・契約がございます。
※ 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 秋田支社
〒010-0921 秋田県秋田市大町1-3-8
TEL:018-864-5245
<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

秋田営業部 TEL:018-863-1626 大館営業部 TEL:0186-49-2459
本荘支所 TEL:0184-23-2950 大曲営業部 TEL:0187-62-1337
能代支所 TEL:0185-52-5351 湯沢支所 TEL:0183-72-3230

B-2017-1005 (2017.4) 使用期限 2018.3.31

■従業員様の再就職や出向を無料で支援します

- 人材を必要としている企業の皆様へ ⇒ 即戦力の人材を紹介します
- 雇用調整を検討している企業の皆様へ
⇒ 従業員様の再就職・出向を全国ネットでサポートします

■高齢者の就業を支援します [キャリア人材バンク]

- 能力・経験を生かし、66歳以降も働くことを希望する方へ
⇒ 再就職をサポートします
- 年齢より能力を重視する企業の皆様へ
⇒ 経験豊富で仕事ができる方を紹介します



公益財団法人 産業雇用安定センター

秋田事務所 〒010-0951 秋田県秋田市山王3丁目1-7 東カン秋田ビル4階
TEL 018-823-7024 FAX 018-883-4215

- ★経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された、30年の実績がある公益法人です
- ★47都道府県の事務所が全国ネットで皆様を支援します ★ご利用はすべて無料です